2026 年度 長崎純心大学大学院 人間文化研究科人間文化専攻 博士前期課程 臨床心理学分野
入学試験問題出題意図

設問１　臨床心理学の基礎である精神疾患の基礎的知識を有しているかを判断するために出題している。

設問２　障害者・障害児心理学より自閉スペクトラム症児の支援において重要な指標となる TEACCH プログラムの基礎知識と、事例に基づく具体的な実践応用力を問う問題である。対象児の認知特性や行動上の課題を正しく分析し、視覚的構造化を中心とした適切な支援案を論理的に構築できるかを評価する。

設問３　公認心理師の基本的な法的義務である秘密保持について、その趣旨と例外を正確に理解しているかを確認するとともに、臨床場面において守秘と情報共有の必要性を適切に判断し、クライエントへの説明や同意に配慮して実践する力を問うことを目的として出題している。

設問４　公認心理師には、人の感情の特徴やその調整過程について理解し、心理学的知識を支援に活用する力が求められる。本問題では、感情、情動、気分の基本的な概念と特徴を理解するとともに、Gross の感情制御のプロセスモデルにおける感情の生起過程と 5 つの感情制御方略について理解し、説明する力を問い、評価することを目的とする。

設問５　心理学研究における基本的な統計手法の選択力と、標本代表性という研究方法論上の重要概念の理解力を測る問題である。問 1 は研究目的・変数の尺度水準・数から適切な分析法を判断する応用力を、問 2 は代表性の欠如が結果の一般化可能性や妥当性に与える影響を具体例とともに論述する力を評価する。

設問６　乳幼児を対象とした心理学的な研究手法である選好注視法と視覚断崖装置、および乳幼児の発達の理解に欠かせない社会的参照の理解に関する設問である。実験や装置の名称に関する知識だけでなく、実験の目的や結果について正しく理解できているかを確認するために出題している。

設問７　高齢期における心身機能や生活機能の特徴、および認知症に関する基本的知識を習得できているかを問う問題である。また、認知症高齢者に対する心理的アプローチについて理解し、具体的に説明できるかを確認することを目的としている。

設問８　英語論文の読解や抄録作成の基礎となる英語の基礎的な能力を測ることを目的とし、心理学及び公認心理師に関連する知識に関する英文の和訳とキーワードの回答を求める。